

見た目による印象と現実の違い

四ツ車 昌 (21811379ay@tama.ac.jp)

小林 拓視 (21811135tk@tama.ac.jp)

1.研究の背景

昔、ブルーナとグッドマンが社会的価値についての実験を行った。

実験は子供 30 人に 1,5,10,25,50 セントのコインを見せ、そのコインの大きさをプロジェクターの絞りを利用し、光で再現させるというものだった。

結果、貧乏な家の子供ほどコインの大きさを実物より大きく認識していることがわかった。

2.実験内容

社会的価値が大きい（強い）人とそうでない人の写真を並べて被験者にどちらが背が高いか選んでもらう。3種類行う。

実験 1 背が低い有名人と背が高い有名ではない人の写真を並べる。12 人に行い、「有名人のほうが高い」と答えたのは、

1 枚目：1 名、2 枚目：7 名、3 枚目：3 名

実験 2 背が低いプロレスラー等の物理的に強そうな人と背が高い普通の人の写真を並べる。11 人に行い、「強そうな人のほうが背が高い」と答えたのは、

1 枚目：6 名、2 枚目：8 名、3 枚目：6 名

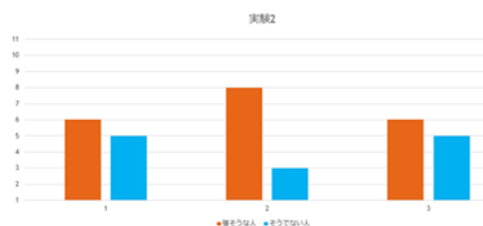
実験 3 背の低いイケメンと背の高い太っている人の写真を並べる。「イケメンのほうが背が高い」と答えたのは、

1 枚目：3 名、2 枚目：3 名、3 枚目：5 名

3.まとめ

有名人（社会的価値が高い）からといって身長が高く見えるわけではないことがわかった。物理的に強そうなプロレスラー等は少しだけだが大きくみられやすいということがわかった。イケメンだからといって背が高そうに見えるといったことはあまりなく、太っている人のほうが大きくみられることがわかった。

上記の結果により、筋肉や脂肪などで身体が大きくなっている人が背が高そうに見えるのではないかという予想ができた。



←実験 2 の結果のグラフ